

佐賀県感染症発生動向調査速報

平成16年第25週 平成16年6月14日(月)～平成16年6月20日(日)

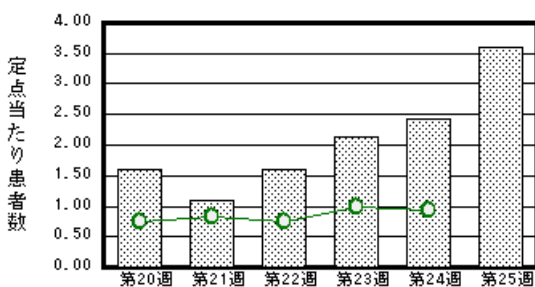
<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

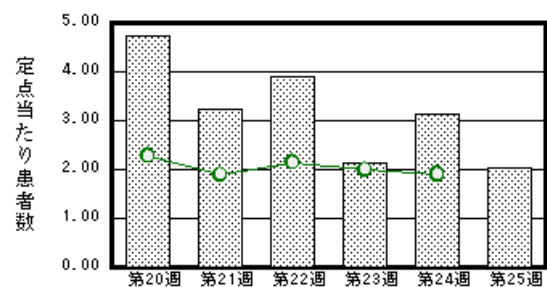
注目疾患の動向

- 1 【報告数の多い疾患】 流行性耳下腺炎 (83名) 水痘 (47名) 感染性胃腸炎 (45名) 突発性発疹 (42名) 手足口病 (35名) ヘルパンギーナ (35名)
- 2 【流行性耳下腺炎】患者報告数が増加しました (56名 83名)。特に唐津保健所管内 (62名) で多くなっています。
- 3 【手足口病 ヘルパンギーナ】前週に引き続き、患者報告数が増加しました (手足口病31名 35名、ヘルパンギーナ29名 35名)。うがい、手洗い等、感染予防に努めましょう。
- 4 【咽頭結膜熱】県内の患者報告数は増加しました (9名 18名)。過去5年間に比較して患者報告数が多くなっています。全国的にも流行しており厚生労働省及び文部科学省から注意喚起がなされています。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。
<http://www.kansen.pref.saga.jp/kakotopics/kakotopics/intouketumaku/tem.html>

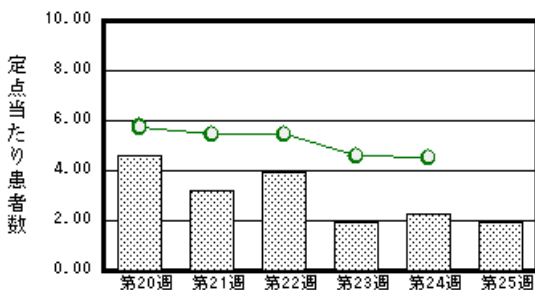
流行性耳下腺炎



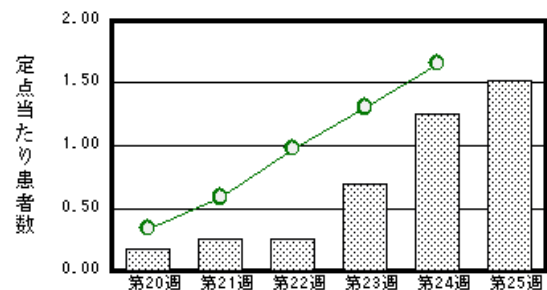
水痘



感染性胃腸炎



ヘルパンギーナ



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.kansen.pref.saga.jp>

全国版感染症週報 (DWR) 2004年第23週号 (5月31日～6月6日) 要点

・ 発生動向総覧	< 第23週 > 咽頭結膜熱・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向
・ 注目すべき感染症	< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第15週から緩やかな増加傾向が認められ、第22週の報告数は100例を超えたが、第23週はやや減少して80例であった
・ 病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2004年 / 咽頭結膜熱患者から分離されているアデノウイルス2004年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス2004年
・ 速報	麻疹罹患後に急性脳炎で死亡した成人女性例
・ 海外感染症情報	スーダン南部でのエボラ出血熱流行 - 更新 / 米国でのウエストナイル熱 - 更新
・ 感染症の話	< 伝染性紅斑 > 第5病 (Fifth disease) とも呼ばれ、頬に出現する蝶翼状の紅斑を特徴とし、小児を中心としてみられる流行性発疹性疾患である

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.gov.jp>

佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 :五類感染症 (週報分)

平成16年第25週

平成16年6月14日 (月)~平成16年6月20日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第24週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)								53 0.01
小児科 (23)	RSウイルス 感染症								21
	咽頭結膜熱	5 0.63	7 2.33		2 0.67	4 0.80	18 0.78	9 0.39	1857 0.61
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	13 1.63	9 3.00	3 0.75		2 0.40	27 1.17	32 1.39	6017 1.98
	感染性胃腸炎	17 2.13	15 5.00		1 0.33	12 2.40	45 1.96	52 2.26	13744 4.51
	水痘	5 0.63	5 1.67	14 3.50	1 0.33	22 4.40	47 2.04	72 3.13	5813 1.91
	手足口病	5 0.63	22 7.33	5 1.25	3 1.00		35 1.52	31 1.35	1209 0.40
	伝染性紅斑							5 0.22	1572 0.52
	突発性発しん	8 1.00	6 2.00	11 2.75	6 2.00	11 2.20	42 1.83	31 1.35	2325 0.76
	百日咳							1 0.04	52 0.02
	風しん			1 0.25			1 0.04		148 0.05
	ヘルパンギーナ	15 1.88	2 0.67	1 0.25	1 0.33	16 3.20	35 1.52	29 1.26	5069 1.66
	麻しん (成人 麻しんを除く)								58 0.02
流行性耳下腺炎	7 0.88	4 1.33	62 15.50			10 2.00	56 2.43	2855 0.94	
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								5 0.01
	流行性角結膜炎	1 0.50					1 0.25	1 0.25	576 0.91
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								7 0.01
	無菌性髄膜炎							1 0.17	24 0.05
	マイコプラズマ肺炎	1 0.50	1 1.00	2 2.00			4 0.67		143 0.30
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								5 0.01
	成人麻しん								3 0.01

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は23週分(患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成16年第25週 平成16年6月14日(月)~平成16年6月20日(日)

インフルエンザ 定点	インフル エンザ (高病原 性鳥イン フルエン ザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプ ラズマ肺 炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん
6ヶ月未満		6ヶ月未満					1			4						6ヶ月未満					1		
12ヶ月未満		12ヶ月未満				2	4	3		30			2			12ヶ月未満					1		
1歳		1歳		2		6	6	9		7			13		1	1歳							
2歳		2歳		7		7	7	12		1			5		7	2歳							
3歳		3歳		2	5	5	17	6					8		13	3歳							
4歳		4歳		1	6	3	6	2					5		14	4歳							
5歳		5歳		3	8	6	3	3					1		16	5歳							
6歳		6歳		1	1	3	1								18	6歳							
7歳		7歳			1	3							1		7	7歳							
8歳		8歳			2	3	2								2	8歳					1		
9歳		9歳													2	9歳							
10歳~14歳		10歳~14歳		2	3	5									2	10歳~14歳					1		
15歳~19歳		15歳~19歳				1										15歳~19歳							
20歳~29歳		20歳以上			1	1						1			1	20歳~29歳		1					
30歳~39歳																30歳~39歳							
40歳~49歳																40歳~49歳							
50歳~59歳																50歳~59歳							
60歳~69歳																60歳~69歳							
70歳~79歳																70歳以上							
80歳以上																							
合計		合計		18	27	45	47	35		42		1	35		83	合計		1			4		
前期計		前期計		9	32	52	72	31	5	31	1		29		56	前期計		1		1			
当期間/前	***	当期間/前	***	2	0.84	0.87	0.65	1.13		1.35		***	1.21	***	1.48	当期間/前	***	1	***		***	***	***
増減数		増減数		9	-5	-7	-25	4	-5	11	-1	1	6		27	増減数				-1		4	

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

